

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

産業建設委員会

企業誘致の取り組みについて

昨年11月に、岐阜県瑞浪（みずなみ）市へ行政視察を実施しました。人口は約4万人、面積は175平方キロメートルの市です。

当市は、企業誘致活動として、独立法人中小企業基盤整備機構や岐阜県に積極的に働きかけ、市内初の産業団地の事業化を実現させ、平成17年に約26ヘクタールの「瑞浪クリエーション・パーク」を整備し、平成20年3月には、譲渡および賃貸借契約により完売しています。

今回の視察では、事業の経緯、用地買収や団地整備の経過、市が行った用地交渉や道路などのインフラ整備についてを中心に視察を行いました。



研修を受ける委員

総務財政委員会

フードバレー構想について

昨年11月に、静岡県富士宮市へ行政視察を行いました。

富士宮市では、市が有する多種多様な食資源という自然環境の優位性を「富士宮ならでは」という視点からまちづくりに生かそうと、平成16年に「食」を生かした産業振興と市民の健康づくりを提唱し、食によるまちづくり「フー

ドバレー構想」を推進されています。

特に、「富士宮やきそば」を活かしたまちおこしについては、平成13年から9年間で439億円、そして現在では700億円もの経済波及効果を生み出しています。

今回の視察では、地元食材を通じて、産業の振興を図り、地域食材のブランド化など、食に関するこれまでの取り組み、そして今後の方向性を中心に視察を行いました。



研修を受ける委員

民生文教委員会

太陽光発電事業について

昨年11月に、群馬県太田市へ行政視察を行いました。

同市は、早期から太陽光発電の導入とその普及拡大を図り、地球にやさしいまちづくりを進めてきました。

平成24年7月に「おおた太陽光発電所」を開設し、自ら電気をつくる自治体として新たな一歩を踏み出しました。

同発電所は、発電出力15メガワットで、年5500万円のリース契約でパネルを設置し、売電額は設置後1年間で1億円を記録しています。

同市は、この後市内2カ所にメガソーラーを設置しています。

また、公共施設にも太陽光パネルを設置するほか、パネルを設置した家庭にも市内で使える金券を報奨金として支給し、自然エネルギーの普及促進に力を入れています。



おおた太陽光発電所